

災害など、心が傷ついた出来事を語ることは、強い苦痛を引き起こす可能性があるため、報道取材を受けるにあたっては、お子さんに十分な配慮が必要です。しかし大人も動揺しているときには、十分な気遣いが出来ないかもしれません。子どもも、大人に気にいられようと無理をしたり、取材後に気持ちが不安定になったりする事があるため、次の点に注意して下さい。

■子どもには、次の事を伝えて下さい。

テレビや新聞の人は、たいていは子どもが嫌な思いをしないために気を付けてくれますが、子どもも覚えておいた方がいいことがあります。

- 取材の時は、必ずお父さん・お母さんから許可をとる事になっています。だから、許可を受けないまま取材をうけないようにしましょう。

保護者の許可の元で取材を受ける場合は、以下の点も伝えて下さい。

- 取材を受けるのがいやな時は、断る事が出来ます。
- 「取材ではこうしてほしい」という希望を伝える事が出来ます。

例)顔をうつさないで欲しい・泣いている所を撮らないでほしい・このメッセージは必ず入れてほしいなど

- 取材を受けた後に、嫌な気持ちになったり、「取材を受けなきゃよかった」と思ったり、なんだか怖くなったりした時は、お父さん・お母さんや、自分を守ってくれる大人にその事を話してください。

■身近でケアをする大人の方へのお願いです。

- ◎子どもがまだ安心・安全でない状況では、取材を受ける事でさらに不安定になる可能性があります。特に、本来は身近で守ってくれるはずの保護者が近くにいない状況で取材を受けるとすれば、なおさらです。
- ◎保護者から同意・許可ない状況で子どもに何か特別な関わりを行うのは、取材に限らず望ましいことではないと考えます。
- 取材に関して保護者からの同意が取れない状況では、無理をせずに取材を断ったり、延期するようお願いしてあげて下さい。
- ◎「取材を受けることを断ってもいいんだよ」と必ず子どもに伝えて、子どもの意思を尊重して下さい。
- ◎保護者と連絡が取れる場合は、保護者に「子どもに取材依頼が来ている」という事を伝えて下さい。また、取材スタッフには保護者から取材の許可・同意を得るようにお願いして下さい。
- ◎なお、これと同様の保護者向けリーフレットがあります。取材にあたっての保護者へのお願いを書いていますので、参考にして下さい。

■このリーフレットは、日本小児精神医学研究会より地震の際に配付されたものです。

お問い合わせ先：

HP アドレス http://homepage2.nifty.com/jspp/jspp_website/JSPP_zai_hai_yong_gong_youfairu.html